

おでかけ&海峽 誘遊マップ

ここは、門司港。レトロな雰囲気で訪れる人を優しく迎えてくれる街。3月ごろには新たに3つの施設がオープンして、ますますパワーアップの予感。
そんな、門司港と海峡の街が、新年早々スゴロクになって登場！

わしは、物理学者・アインシュタイン。さあ、おもしろいクイズじゃ

さて、問題じゃ。わしは大正11年に日本に来て、門司港の、とある建物に泊まったことがある。もちろん、このスゴロクの中にも出ておるぞ。さあ、その建物とは、いったい何という建物かな？
【応募方法】 はがきに、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりへの意見・感想を書いて、1月25日までに、広報室広報課「新春クイズ」係（〒803 小倉北区内1-1、☎582局2238）へ。当選者の発表は、2月15日号で行います。
【賞品】 ▶スペースワールド・スーパーパス券2枚セット=5人 ▶1万円の図書券=1人 ▶5000円の図書券=2人 ▶10000円の図書券=80人。

アインシュタインにタイムマシンをもらって、もう一度サイコロを振って、出た目の6倍の数のマスに行く。

厳流島・時空迷路 入口
⑨に行く

安徳天皇に出会う。⑩に行く。
佐々木小次郎に「つばめ返し」をされる。⑪に行く。

先帝様を見たら、いつのまにか隣にいたアインシュタインに連れられて行ける。「厳流島・時空迷路」へ行く。

花火を見物する。左と右の人のサイコロをふって、⑫～⑮なら⑮へ、⑯ならスタートへ戻る。

火の山（下関市）山頂には360度の展望が楽しめる展望台と回転レストラン。夜景も絶品です。自動車専用道、遊歩道のほか、ロープウェイでも登れます。

長門（下関市）土壌のつづく小道や風景を眺め、城下町のたたずまいが今も残っています。長門毛織物産物館・香家の「長門門」、高杉晋作が雄略の旗揚げをした「国定・功山寺」、西郷・特野の作品もある「下関市立美術館」と、興味はつきません。

ブルワイングくじは、海沿いのわしれな通りを歩くと、船や港の風景が、これぞ日本らしい歩道橋の風景が、船が通るとき（約10分間）は、船と橋がはねあがります。

展望・休憩サロンで、一休み。のんびりが癒えてしまふ。1分間休み。

旧門司税関（明治45年建築） 圧倒的な数の赤レンガを身に着けたこの建物。港町としてにぎわった明治の重宝を今に伝える貴重な建物です。海を見渡す展望・休憩サロンとして、3月ごろオープン!!!

一緒に中国の歴史を調べるために、最下位の人を呼び寄せる。自分が最下位のときはそのまま。

中華料理を食べ過ぎて動けなくなった。最下位の人に抜かれるまで進めない。自分が最下位のときは2回休み。

めりめり展望デッキ 眼下に門司海峡の大パノラマが広がります。有田橋を1400枚も使った大展望「源平壇之浦合戦絵巻」も必見。

早瀬の瀬戸の急流を見たら目が回った。みんなの前で、ぐるぐる回りながら戻る。

記念写真を撮ってもらおう。ほかの人全員にジャンケンをしてもらい、負けた人を呼び寄せる。

NTT門司営業所（大正13年建築） なんと「モダン」な外観。昨年12月、古い電話や資料を展示する「門司電気通信レトロ館」（入場無料）が館内にオープンしました。

旧門司三井倶楽部（大正10年建築） かのアインシュタイン博士夫妻も泊まった由緒ある建物。しかも、これもまた国指定重要文化財。結婚披露宴もできる欧風レストラン、アインシュタインメモリアルコーナー、林美奈子資料室と館内も華やかに、3月ごろオープン！

旧大坂商船（大正6年建築） かつて大隈造船所の待合室としてにぎわったこの建物は、昨年夏にお色直しが完了。1階はいろんな催しに使える「海峽ロマンホール」、2階は「海峡・港船」をテーマにした海事資料室（入場無料）です。

海峡ロマンホールで一緒に演劇を見るために、トップの人を呼び寄せる。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

門司港駅（大正3年建築） ヨーロッパの駅をモデルにしたといわれる駅舎は、なんと鉄道駅では初の国指定重要文化財。大正時代から残る「幸運の手水鉢」も一見の価値あり。

旧門司三井倶楽部（大正10年建築） かのアインシュタイン博士夫妻も泊まった由緒ある建物。しかも、これもまた国指定重要文化財。結婚披露宴もできる欧風レストラン、アインシュタインメモリアルコーナー、林美奈子資料室と館内も華やかに、3月ごろオープン！

旧大坂商船（大正6年建築） かつて大隈造船所の待合室としてにぎわったこの建物は、昨年夏にお色直しが完了。1階はいろんな催しに使える「海峽ロマンホール」、2階は「海峡・港船」をテーマにした海事資料室（入場無料）です。

海峡ロマンホールで一緒に演劇を見るために、トップの人を呼び寄せる。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

門司港駅（大正3年建築） ヨーロッパの駅をモデルにしたといわれる駅舎は、なんと鉄道駅では初の国指定重要文化財。大正時代から残る「幸運の手水鉢」も一見の価値あり。

旧門司三井倶楽部（大正10年建築） かのアインシュタイン博士夫妻も泊まった由緒ある建物。しかも、これもまた国指定重要文化財。結婚披露宴もできる欧風レストラン、アインシュタインメモリアルコーナー、林美奈子資料室と館内も華やかに、3月ごろオープン！

旧大坂商船（大正6年建築） かつて大隈造船所の待合室としてにぎわったこの建物は、昨年夏にお色直しが完了。1階はいろんな催しに使える「海峽ロマンホール」、2階は「海峡・港船」をテーマにした海事資料室（入場無料）です。

海峡ロマンホールで一緒に演劇を見るために、トップの人を呼び寄せる。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

門司港駅（大正3年建築） ヨーロッパの駅をモデルにしたといわれる駅舎は、なんと鉄道駅では初の国指定重要文化財。大正時代から残る「幸運の手水鉢」も一見の価値あり。

旧門司三井倶楽部（大正10年建築） かのアインシュタイン博士夫妻も泊まった由緒ある建物。しかも、これもまた国指定重要文化財。結婚披露宴もできる欧風レストラン、アインシュタインメモリアルコーナー、林美奈子資料室と館内も華やかに、3月ごろオープン！

旧大坂商船（大正6年建築） かつて大隈造船所の待合室としてにぎわったこの建物は、昨年夏にお色直しが完了。1階はいろんな催しに使える「海峽ロマンホール」、2階は「海峡・港船」をテーマにした海事資料室（入場無料）です。

海峡ロマンホールで一緒に演劇を見るために、トップの人を呼び寄せる。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

門司港駅（大正3年建築） ヨーロッパの駅をモデルにしたといわれる駅舎は、なんと鉄道駅では初の国指定重要文化財。大正時代から残る「幸運の手水鉢」も一見の価値あり。

旧門司三井倶楽部（大正10年建築） かのアインシュタイン博士夫妻も泊まった由緒ある建物。しかも、これもまた国指定重要文化財。結婚披露宴もできる欧風レストラン、アインシュタインメモリアルコーナー、林美奈子資料室と館内も華やかに、3月ごろオープン！

旧大坂商船（大正6年建築） かつて大隈造船所の待合室としてにぎわったこの建物は、昨年夏にお色直しが完了。1階はいろんな催しに使える「海峽ロマンホール」、2階は「海峡・港船」をテーマにした海事資料室（入場無料）です。

海峡ロマンホールで一緒に演劇を見るために、トップの人を呼び寄せる。

サイコロをふって、⑫～⑮なら力車に乗ってへ。ほかは出た目の数だけ進む。

結婚披露宴で、余興にバナナのたたき売りをする。うけたので、ごほうびに、次の自分の順番で出た目の数の3倍進む。

突然、踊りながらアインシュタインが現れて時間操作をする。もう一度サイコロをふって、偶数は「厳流島・時空迷路」、奇数は⑮へ。

門司出身の作家・林美奈子に興味をわき、とことん資料を調べる。⑯～⑰図が出るまで進めない。

